



神戸大学

神戸大学大学院経営学研究科

中小M&A研究教育センター

第7回 特別セミナー

オンライン開催

日本企業の コーポレート・ガバナンスの 状況と今後の東証の取組み ～ ガバナンス改革は次のステージへ ～



セミナー
講師

株式会社東京証券取引所
上場部企画グループ 調査役
信田 裕介

2020年から東京証券取引所上場部において、コーポレート・ガバナンスの充実化に向けた検討など、東証における上場制度全般にかかるルールメイク等を担当

参加費無料 / オンライン要参加登録

参加対象: 教員、大学院生、学部生、一般

2025
Tue. 10.14
17:00 ~ 18:30

2014年6月に閣議決定された『日本再興戦略』改訂2014－未来への挑戦－において、「コーポレート・ガバナンスの強化」が成長戦略の一環として掲げられたことを受けて、2015年に東京証券取引所(以下「東証」)がコーポレートガバナンス・コード(以下「CGコード」)を策定してから10年が経ちました。この間、コーポレート・ガバナンスに対する上場企業の意識や取組みは進展しつつあるものの、未だ形式的な対応に終始している、あるいは「稼ぐ力」の向上につながっていないとの指摘や、企業の事業環境の不確実性が高まる中、実質的なコーポレート・ガバナンス改革をさらに進めていくことの必要性など、様々な意見が市場関係者から聞かれるところです。

こうした中、東証では、2022年に市場区分の見直しを行い、2023年には資本コストや株価を意識した経営の推進、2025年にはMBOや支配株主による完全子会社化に関する上場制度の見直しやグロース市場改革など、実質面に焦点を当てた施策を進めています。

本セミナーでは、東京証券取引所の信田裕介氏をお招きし、上場企業のコーポレート・ガバナンスの状況と今後の東証の取組み(資本コストや株価を意識した経営の推進、非公開化、グロース市場など)をテーマに講演いただきます。非上場企業のM&Aの研究や実務に従事されている方も、本セミナーを通じて上場企業が置かれている環境の理解にお役立てください。

都合により、セミナーの内容が変更・中止する場合がございますので、ご了承ください。また、事前のご登録がない方でもセミナーのご参加は可能(歓迎)ですが、中止の場合はご連絡させていただきますので、ご参加登録をお願いします。ご協力のほどお願い申し上げます。

<参加申込>

下記のURLまたは二次元コードより▶

<https://b.kobe-u.ac.jp/marec/event/20251014.html>



連絡先: 中小M&A研究教育センター(MAREC)(神戸大学大学院経営学研究科内) E-mail: [marec\[at\]b.kobe-u.ac.jp](mailto:marec[at]b.kobe-u.ac.jp)